

ほんごういせき  
**本郷遺跡**

遺跡名称 本郷遺跡  
 調査場所 新居浜市本郷1丁目878-5  
 委託者 愛媛県東予地方局  
 調査主体 (財)愛媛県埋蔵文化財調査センター  
 調査期間 平成21年8月3日～9月25日(予定)  
 調査面積 360m<sup>2</sup>

本郷遺跡の発掘調査は、一般県道新居浜港線の建設工事に先立って、8月からおこなっています。

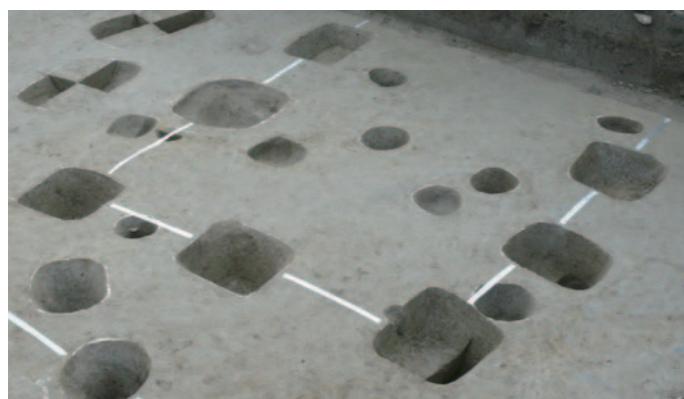
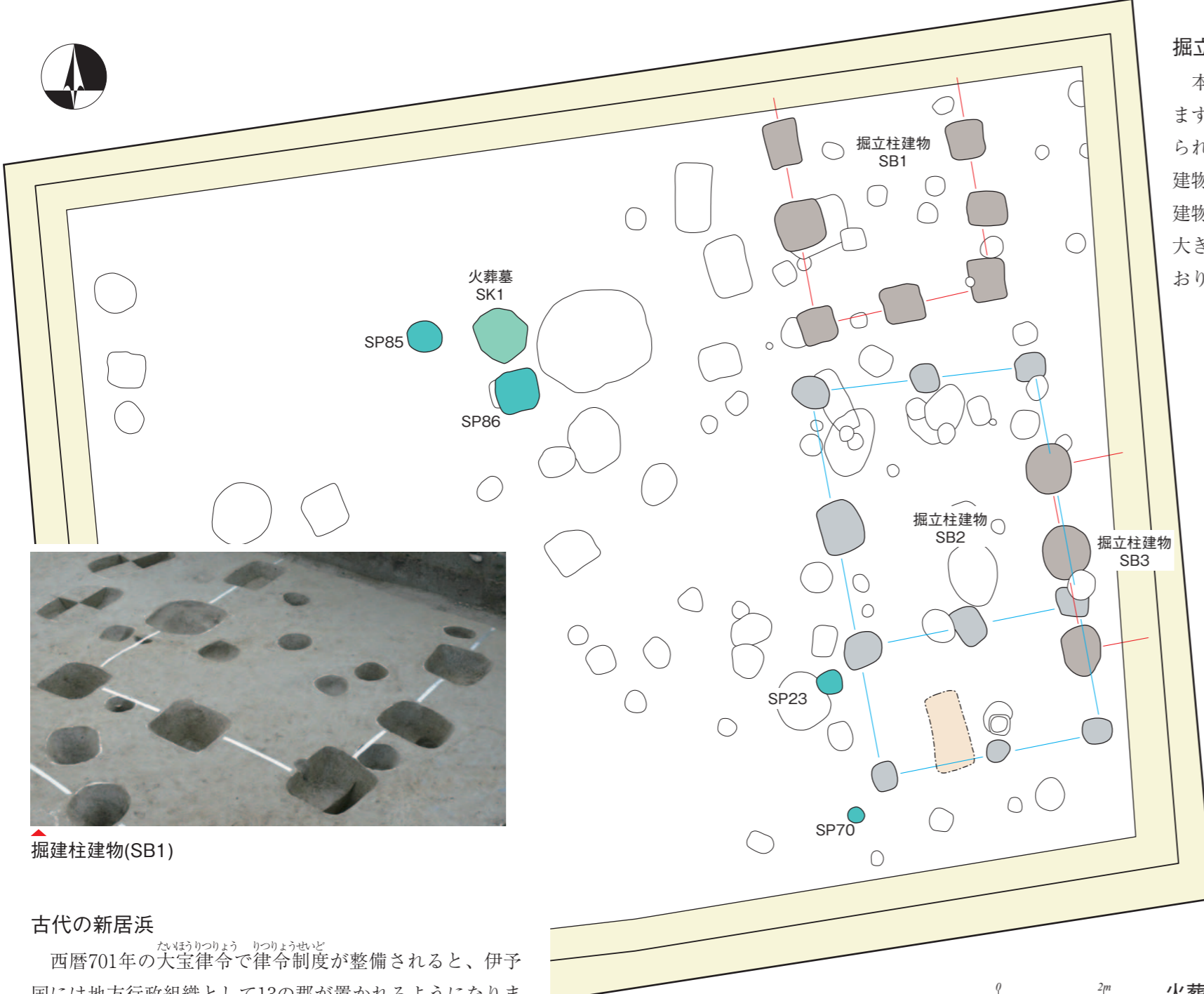
調査の結果、今からおよそ千年前ごろの平安時代の遺跡であることがわかりました。当時、ここには大きな柱穴の立派な建物があったことがわかりました。須恵器すえきや土師器はじきといった器も数多く見つっていますが、その中には京都や滋賀で焼かれた緑釉陶器という高級品りよくゆうとうきもありました。また、墓と考えられる穴も見つっています。墓穴からは炭とともに焼けた人骨が出土しており、火葬かそうした骨を埋めていたものと考えられます。当時、火葬されるのは僧や役人など、ごく一部の階級の人に限定されていました。

このあたりはその「本郷」という地名から、新居かんの(神野)郡新居郷の役所ごうげ(郷家)があった場所と言われていました。今回発見された建物や墓、緑釉陶器などの出土品は、一般庶民ではない人が住んでいたことを示すもので、役所に関する施設であった可能性が高く、近くに役所が存在していたものと考えられます。



▶ 平安時代の火葬墓





掘立柱建物(SB1)

### 古代の新居浜

西暦701年の大宝律令<sup>たいほうりつりょう りつりょうせいど</sup>で律令制度が整備されると、伊予国には地方行政組織として13の郡が置かれるようになりました。新居浜はその一つである神野郡(のちに新居郡と改められる)に属していました。郡の下には郷という小さな組織がありましたが、神野郡には新居郷・井上郷・島山郷・加茂郷・立花郷の5郷(のちに神部郷が追加されて6郷となる)が存在していました。このうち現在の新居浜市は市の東半分が井上郷、西半分が新居郷、大生院から西条市の東部にかけてが島山郷であったと考えられています。

郡や郷にはそれぞれに役所が置かれていましたが、神野郡や新居郷の役所は新居浜市中村・本郷のあたりに置かれていたという説が有力です。また、近くに古代官道(都と地方を結ぶ高速道路)である南海道<sup>なんかいどう</sup>が通っていたと考えられ、本郷遺跡の東側の松木付近<sup>まきぎ</sup>に駅家(役人が馬を乗り換える施設)が設けられていたと言われています。

このように古代の本郷周辺は行政施設が集中する重要な場所であったと考えられます。

SP23から出土した土師器杯



### 掘立柱建物跡

本郷遺跡では9世紀から10世紀にかけての掘立柱建物<sup>ほったてはしらたてもの</sup>が見つっていますが、建物の重なり具合から新旧二時期の建物が存在していたと考えられます。いずれの建物も同じ方向に建てられていることから、新しい建物(SB1・SB3)は古い建物(SB2)を建て替えたものと考えられます。古い建物の柱穴が比較的小さいのに比べ、新しい建物の柱穴は70cmを超える大きな柱穴をもっています。また、SB1とSB3は建物の方向が直交しており、計画的に配置された建物群の一部ではないかと考えられます。



### 緑釉陶器

本郷遺跡からは緑釉陶器という焼き物が出土しています。緑釉陶器は中国製の青磁<sup>せいじ</sup>をまねて京都や滋賀県で作られた国産の焼き物ですが、庶民は手にすることが難しい高級品で、所有することができたのは貴族や僧侶など上級階層の人に限られています。そのため、緑釉陶器が出土するのは役所や寺社があった遺跡が大多数を占めています。本郷遺跡からは、洛北産(京都)をはじめ、近江産(滋賀県)や東海産(愛知県)など、いろいろな産地の緑釉陶器が出土しています。

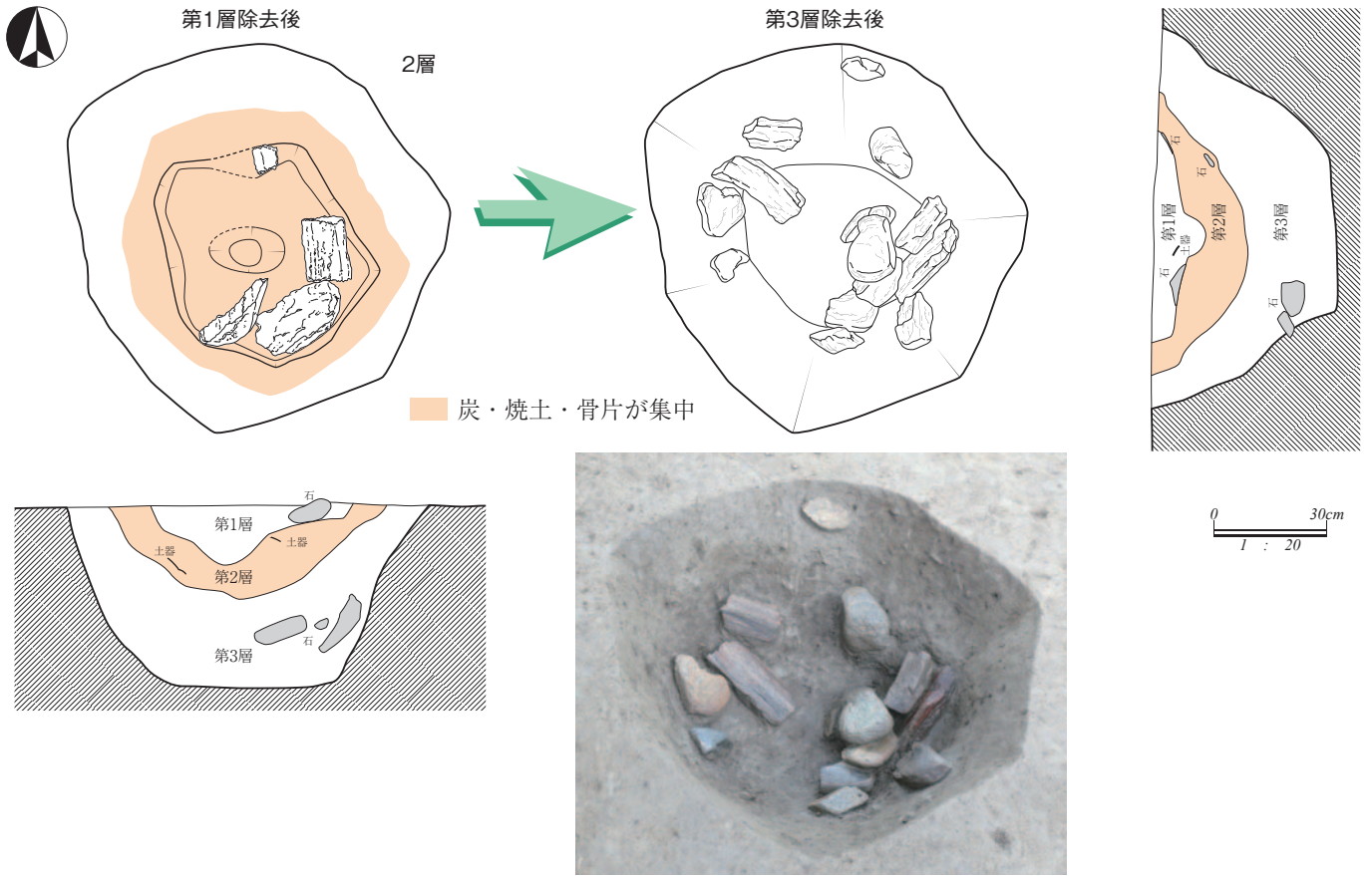
### 火葬墓

特に注目されるのは、墓と考えられるSK1です。平面形はいびつな六角形で、炭と焼け土が厚さ5~10cmで敷き詰められ、その周りに大きめの石が並べられていました。この炭の層には小さな骨のかけらがたくさん混じっていましたが、頭・背骨・手足などの大きな骨はありませんでした。石が何かを取り囲むように置かれていることから、大きな骨は拾い上げられて骨壺(蔵骨器)に収められ、穴の中心に置かれていたのではないかと考えられますが、後世何らかの理由で遺構上部が削られたため不明です。周辺の地面に焼けた跡がないことから、別の場所で火葬したのち、ここに穴を掘って埋葬したものと考えられます。

当時、火葬することができたのは、僧侶や役人など上級階層の人に限られています。



# 火葬墓(SK1)の構造



▲ SP23に埋められていた土師器



▲ SP70に埋められていた土師器



▲ SP85に埋められていた須恵器



▲ SP86に埋められていた土師器